

防災まちづくりチェックシート付き
学習パンフレット

あたらしい時代の地域防災と 婦人会・女性会の活動 & 災害時のLPガスの供給を考える

- わたしたち地域の女性にとって、なぜ防災が大切なのでしょう？ …………… 1
- あたらしい時代の地域防災① 災害・防災活動のとらえかた …………… 2
- あたらしい時代の地域防災② 防災まちづくり／ネットワーク …………… 3
- 災害時におけるLPガスの役割と災害時協定の大切さ …………… 4
- 「婦人会・女性会の目で防災まちづくり」チェックシート …………… 5～6
- LPガスだから素早い復旧と被災者支援が可能 …………… 7
- LPガスの災害支援ネットワーク～あなたのまちはどうなっていますか？ …… 8
- もし地震が発生したら …………… 9～10



全国地域婦人団体連絡協議会
LPガス安全委員会

～婦人会・女性会でこの学習パンフレットをご利用いただくにあたって～

今世紀は巨大な地震の発生も複数予想されていることから、地域や企業の防災活動、自治体・政府の防災政策の充実とともに、女性やくらしの視点、福祉・人権への配慮がきちんとされるようにしていくことが緊急の課題となっています。

したがってこの学習パンフレットが、みなさんの地域での防災活動のステップアップにつながったり、幅広い連携をはぐくむことに貢献すると同時に、わたしたち女性・消費者の声をしっかりと、地域、市町村・都道府県、そして社会全体へと伝えていく契機になれば幸いです。

*全地婦連では現在、全国各地の婦人会・女性会等による防災活動事例を積極的に収集し、その価値について機関紙やホームページ、他団体・企業・省庁などとの交流を通じて、広く社会に発信するよう努めております。

都道府県LPガス協会一覧

協会名	電話番号	協会名	電話番号
㈱北海道エルピーガス協会	011-812-6411	㈱滋賀県エルピーガス協会	077-523-2892
㈱青森県エルピーガス協会	017-775-2731	㈱京都府エルピーガス協会	075-314-6517
㈱秋田県エルピーガス協会	018-862-4918	㈱奈良県高圧ガス保安協会	0742-33-7192
㈱岩手県高圧ガス保安協会	019-623-6471	㈱和歌山県エルピーガス協会	073-475-4740
㈱山形県エルピーガス協会	023-623-8364	㈱大阪府エルピーガス協会	06-6264-7888
㈱宮城県エルピーガス協会	022-262-0321	兵庫県プロパンガス協会	078-361-8064
㈱福島県エルピーガス協会	024-593-2161	㈱鳥取県エルピーガス協会	0857-22-3319
㈱栃木県エルピーガス協会	028-689-5200	㈱岡山県エルピーガス協会	086-225-1636
㈱茨城県高圧ガス保安協会	029-225-3261	㈱島根県エルピーガス協会	0852-21-9716
㈱千葉県エルピーガス協会	043-246-1725	㈱広島県エルピーガス協会	082-275-1804
㈱埼玉県エルピーガス協会	048-823-2020	㈱山口県エルピーガス協会	083-925-6361
㈱群馬県エルピーガス協会	027-255-6121	㈱徳島県エルピーガス協会	088-653-8821
㈱東京都エルピーガス協会	03-5362-3881	㈱香川県エルピーガス協会	087-821-4401
㈱神奈川県エルピーガス協会	045-201-1400	㈱高知県エルピーガス協会	088-873-6653
㈱新潟県エルピーガス協会	025-267-3171	㈱愛媛県エルピーガス協会	089-947-4744
㈱長野県エルピーガス協会	026-229-8734	㈱福岡県LPガス協会	092-476-3838
㈱山梨県エルピーガス協会	055-228-4171	㈱佐賀県エルピーガス協会	0952-22-5516
㈱静岡県エルピーガス協会	054-255-2451	㈱長崎県LPガス協会	095-824-3770
㈱愛知県エルピーガス協会	052-261-2896	㈱大分県エルピーガス協会	097-558-5483
㈱三重県エルピーガス協会	059-227-6238	㈱熊本県エルピーガス協会	096-381-3131
㈱岐阜県エルピーガス協会	058-274-7131	㈱宮崎県エルピーガス協会	0985-52-1122
㈱富山県エルピーガス協会	076-441-6993	㈱鹿児島県エルピーガス協会	099-250-2535
㈱石川県エルピーガス協会	076-291-8689	㈱沖縄県高圧ガス保安協会	098-858-9562
㈱福井県エルピーガス協会	0776-34-3930		

主要なLPガス中央団体

- ★日本LPガス協会
(LPガスの輸入元売り会社の団体です)
東京都港区虎ノ門1-14-1
TEL 03(3503)5741
 - ★㈱日本エルピーガス連合会
(LPガス販売事業者の団体です)
東京都港区新橋1-18-6
TEL 03(3593)3500
 - ★㈱全国エルピーガス卸売協会
(LPガスの卸売り会社の団体です)
東京都港区虎ノ門1-2-10
TEL 03(3591)6108
 - ★(財)エルピーガス振興センター
(LPガス産業の活性化を推進する機関です)
東京都港区虎ノ門1-19-5
TEL 03(3507)0041
 - ★高圧ガス保安協会
(高圧ガスの災害防止を目的に活動する機関です)
東京都港区虎ノ門4-3-9
TEL 03(3436)6100
- そのほかの主な団体として★(財)全国エルピーガススタンド協会★(財)日本エルピーガスプラント協会★(財)日本エルピーガス供給機器工業会★日本ガスメーター工業会★(財)日本エルピーガス機器検査協会、★(財)日本簡易ガス協会、などがあります。
- ◆LPガス安全委員会
LPガス関連団体と消費者団体で構成し、LPガスの安全・安心に関する啓発活動を行う。事務局は、高圧ガス保安協会内

配布

制作

全国地域婦人団体連絡協議会 (全地婦連)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-17-7

全国婦人会館内

電話 03-3407-4303 FAX 03-3407-4305

URL <http://www.chifuren.gr.jp/>

制作協力:株式会社石油化学新聞社





わたしたち地域の女性にとって、なぜ防災が大切なのでしょう？

災害大国日本だから、「助け合い」の気持ちと《女性の視点》が欠かせないから!!

- 巨大地震の発生も予測されていますので、地域で、社会全体で、助け合いの気持ちを日頃から大切にしていける必要があります。
日常のつながりが豊かなら、災害時も力を発揮できます。
- 災害時には、女性に配慮した支援、子どもや高齢者・障害者などの立場での支援も必要です。
だから、女性たちが、日常から防災活動／防災政策に積極的に関わることがとても大切です。
⇒国の男女共同参画基本計画(第二次)でも、防災分野での女性の参画が重視されています。

さまざまな地域活動に、日常から地道に取り組んでいるからこそ、発揮できる力・期待される力があるから!

- 地域の女性団体やそのリーダーは日頃から多様な地域活動を行っています。だから、地域にどのような支援を必要とする人がいるか、どのような特技をもつ人や団体があるかを知っています。
- その知識や人・組織のつながりが、いざというときの救援・助け合いや、被害の拡大を防ぐことを可能にするので、とても大切になります。

高齢者や障害者に関する地域福祉活動、子育て支援活動、青少年健全育成活動、民生・児童委員、消費者啓発、リサイクル活動、男女共同参画啓発、国際交流、公民館事業への参画など

家庭防災・地域防災は、「女性」「消費者」の視点がとても大切だから!

<p>住宅購入・リフォームで</p>  <p>この家、耐震基準は満たしている? この機会に耐震補強を考えようか? 信頼できる地元の工務店は?</p>	<p>室内の様式替え・引越して</p>  <p>ケガをしないよう家具を置いて固定! ガラス飛散防止フィルムも貼ろう!</p>	<p>防災用品選びで</p>  <p>3日間は各世帯でまかなえるように!</p> <p>女性の必需品は? 赤ちゃん用の粉ミルクは足りる? これ、ちゃんと使える?</p>
---	--	---

地域の避難所での生活で

あらかじめ、地域で話し合ったりルールを決めておくようにしましょう! 特に女性の声が反映されるように!

 <p>女性の着替え場所はちゃんとある? おトイレは安全な場所?</p>	 <p>高齢者でも食べられる食事は? プライバシーを守る間仕切りは?</p>	 <p>体の弱いひとに優先的に食事を避難所の外で避難している人にも必要なモノは配布しよう</p>
---	---	---

参考: 財団法人日本建築防災協会 (戸建て住宅・集合住宅など耐震化全般の情報) <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/>



あたらしい時代の地域防災① 災害・防災活動のとらえかた

これまでの地域防災活動 (基礎的活動で、今後も大切)

初期消火訓練、応急救護訓練、消火器点検、夜回り、火災予防啓発、一人暮らし高齢者宅訪問 など

あたらしい時代の地域防災活動 (基礎的活動もきちんと生かしながら)

●視点 災害をより科学的に捉える (例)

- *災害の知識を事前に身に付ける
- *自治体の被害想定を参照する
- *地域の過去の災害史の掘り起こし
- *災害時要援護者の把握 など



●方法 あたらしい訓練・学習など (例)

- *住民参加の「防災マップ」づくり、避難所での訓練
- *災害時の想像力を高める「イメージトレーニング」など

●つながりづくり 多様な人と組織の間で広く

参考: 『婦人防火クラブリーダーマニュアル』<日常編><訓練・実践編> http://www.n-bouka.or.jp/leader_manual/index.html (財)日本防火協会発行 (地域女性を対象とした実践的内容)

●「減災」社会の実現

事前対応で「被害を最小限におさえる取り組み」の重視
室内安全化、耐震化、防災用品の準備、家族との連絡方法決め、地域での救援ネットワークや、避難所の整備・ルール作りなど



好循環

早まる復興

悪循環

遅れる復興

阪神淡路大震災、新潟中越地震などを参考に



あたらしい時代の地域防災② 防災まちづくり／ネットワーク

防災まちづくりの実践 ⇔ 安全・安心で、住み続けられるまちづくりの実現

◎“防災の視点”で日常も良くしていこう！

日常の地域活動に防災の視点を加えることは、普段の生活の安全・安心にもつながります。福祉、環境、防犯、消費者啓発など、イメージを広げてみましょう。

◎たとえば防犯活動では…

地図を作って危険情報を共有するだけでなく、そこが安全な場所になるよう具体的な改善も大切です。(例：工場・駐車場などのブロック塀を、防犯・防災上も安心な、軽量で透視性のあるフェンスに替えてもらう) そうした話し合いや実践をしていくことで、地域における「信頼」関係もひろがり、結果として、犯罪を減らしたり、災害時の迅速な助け合いの可能性を高めていくでしょう。



図：「平成18年版防災白書」(内閣府編)より

コミュニティでの様々な活動に 防災の要素を取り入れる

危険箇所のチェック&改善
=福祉/環境の
まちづくり



子供も高齢者、障害者も安心して通れるように

防犯+防災
=信頼関係で心あたたまるまちづくり



まちでは助け合いの心も大切なんだよ

防災用品選び
←消費者の目と活動



良い製品選び
悪い業者にだまされない
消費者センターとも連携

国際交流+防災
⇒世界にひらかれた
まちづくり



外国の人にもわかりやすい
まちになったね

多様な主体の参加と連携

◎災害時にどんな連携や協力ができるのか、地域の事業者やボランティア・福祉団体などとも、話し合ってみましょう

LPガス関連企業の取り組み(静岡市)

矢崎総業(株)静岡支店は、隣接する黒石町内会と「土地および設備の使用に関する合意書」を交わし、東海地震など大規模災害発生時に、公的な避難所が整備されるまでの間、一時的に町内会の居住者の避難所として、駐車場やLPガス、給水設備、資機材を無償提供することを申し合わせています。

青少年育成と防災(寝屋川市婦人協議会)

大阪府・寝屋川市婦人協議会は、毎年夏休みの終わりに、市内数ヶ所の小学校で体育館を借りて、新学期には「マイぞうきん」を持っていこう!と小学生を対象に、ぞうきんづくり&防災体験イベントを開催。朝から婦人会員が教えながらぞうきんづくりに取り組み、昼食には非常食の炊き出し訓練を兼ねてアルファ化米、午後は映写会・水鉄砲づくりなどを行っています。同時に、応急手当普及員の資格をもつ会員が講習も実施。参加した保護者にも感謝され、また、まちですれ違った子どもに「ぞうきんのおばちゃんや!」と声をかけられるなど、顔の見える関係づくりにもつながっています。



災害時におけるLPガスの役割と 災害時協定の大切さ

LPガスは、大災害時に、わたしたち住民にとって重要な存在となります

◎LPガスは、被災者の生活支援に不可欠だから!(⇒7頁に詳細)

LPガス地域はもちろんですが、都市ガス地域でも、復旧するまでの間はLPガスにも頼らなければなりません。

食事の煮炊き、赤ちゃんのミルク、入浴など、避難所でもその供給が重要です。

◎LPガスは、復旧が早いから!(⇒7頁に詳細)

過去の災害では、20日から80日以上かかった都市ガスに比べて、数日から十数日で復旧しています。地元のLPガス関連事業者と、各地からの応援とで、災害直後から安全点検・復旧に取り組みます。

◎LPガスは、網の目の全国組織で災害支援ネットワークを持っているから!(⇒8頁に詳細)

全国、都道府県、支部にわたる、広範なネットワーク組織を持ち、災害時にはスムーズな救援活動に取り組むことができるよう、日頃から体制作りを努めています。

でも、LPガスに活躍してもらえる条件は、まだ十分ではありません

◎市町村の地域防災計画で、防災関係機関として指定されていないケースがあるから

市町村との協定がなく、LPガス協会や支部の位置づけがあいまいな場合、行政との連携、情報共有のもとで、迅速かつ適確に被災者へLPガスをとどけることが、難しくなります。(LPガスの必要量・場所、交通情報など)

◎販売所や充てん所など、LPガス関係の事業所は中小企業が多く、災害時には事業所自体も被害を受ける場合があるから(=自治体との協定や被災地外の応援体制が大切)

◎LPガス業界では、防災活動・体制の充実化を、現在さらに進めているところです

災害時における、自治体との連絡窓口の一本化、災害応急活動拠点の確保、被災地外からの応援要員の受け入れ体制づくりなど、マニュアルの整備とともに、全国と各都道府県ならびに支部レベルでの、LPガス関連業界の、防災体制の充実化に取り組んでいるところです。

災害時に、スムーズにLPガスの調達・供給をしてもらえるよう、エルピーガス協会・支部と、都道府県・市町村自治体の間で協定を

あなたの住む市町村では、災害時のLPガスの役割や位置づけについて、明確になっていますか? ぜひ地元でも、どうなっているか調べてみましょう! ⇒8頁もご覧ください!



LPガスの災害時協定については、市町村か、地元LPガス協会にお問い合わせ下さい。

※各都道府県LPガス協会は、11頁に連絡先一覧があります。

神奈川県エルピーガス協会の取り組み

県協会と神奈川県はもとより、県内の全ての市町村と県協会・支部が、災害時におけるLPガスの調達に関する協定を、すでに締結しています。さらに、大規模災害直後の、初動期に必要な経費についてスムーズな支出が出来るように、日常から各事業所による基金の積立を行っています。



供給スタイルが簡単で、すぐ煮炊きできるからです

LPガスだから、素早い復旧と被災者支援が可能!

LPガスは被災者支援の要のエネルギー！
生命・健康維持の課題に直結します

都市ガスや水道は、地中に張り巡らされた巨大な配管網で構成されており、大地震が起これば、配管が破壊されて広域にわたって機能が停止してしまう可能性があります。

阪神・淡路大震災では、配管の修復工事が急ピッチで進められましたが、それでも都市ガスが復旧宣言したのは、震災後3ヶ月近くもたってからのことです。

この間、自宅が残っていても煮炊きの出来ない状態が続き、避難所では、LPガスによる大規模な炊き出しやお風呂の提供などが行われました。

食事や赤ちゃんのミルクづくり、お風呂など、LPガスの供給がスムーズに行われるかどうかは、まさに**被災者の生命・健康の維持の課題に直結**します。



新潟中越地震・福岡西方沖地震でもLPガスは活躍

だからこそ都市ガス地域を含むすべての地域で、災害時の供給に関する協定が大切

LPガスは、持ち運びのできる容器に入れられ、バルブを開け閉めするだけでガスの供給が出来ます。そして、都市ガスが止まってしまった地域や、大小の避難所においても、被災者の生活に絶対に欠かせないエネルギー源となります。

したがって、災害が起こった直後から、各都道府県LPガス協会・支部が、市町村等の行政との情報共有・連携の中で、迅速な被災者支援活動を行うことができるよう、市町村との災害時のLPガス供給協定が締結されていることが大切です。

マイコンメータが、地震をキャッチ

現在、LPガスを使っているご家庭には「マイコンメータ」が付いています。

震度5相当以上のゆれをキャッチしたら、自動的にガスを止めます。



詳しくは9・10ページをご覧ください

都市ガスとLPガスの、復旧にかかった日数の比較

LPガスの復旧作業は、容器やマイコンメータのチェックなどの範囲で済んでいます。

	都市ガス		LPガス	
	被災件数(停止件数)	復旧までに要した日数	被災件数(停止件数)	復旧までに要した日数
釧路沖 78/02/15	約9,300	23日 400軒/日	約100	1日 100軒/日
宮城県沖 78/06/12	約151,000	31日 5,000軒/日	約9,600	3日 3,200軒/日
阪神淡路 95/01/17	約847,000	85日 10,000軒/日	約163,000	14日 11,600軒/日
新潟中越 04/10/23	約56,000	53日 1,100軒/日	約24,000	18日 1,300軒/日

※新潟中越地震では強い余震が続き、再点検、再々点検を余儀なくされた(日本LPガス協会調べ)



LPガスは網の目の全国組織です

LPガスの災害支援ネットワーク

あなたのまちではどうなっていますか?

災害支援で重要なのは、被災者がいる「市町村」や「地域」の中の、まさに現場の情報共有・伝達や、連携のあり方です。

LPガスに関して言えば、特に、被害や、支援情報が集中する「市町村」と、「都道府県LPガス協会・支部」とのあいだで、協定を結んで、災害時の協力関係が事前に明確にされている必要があります。

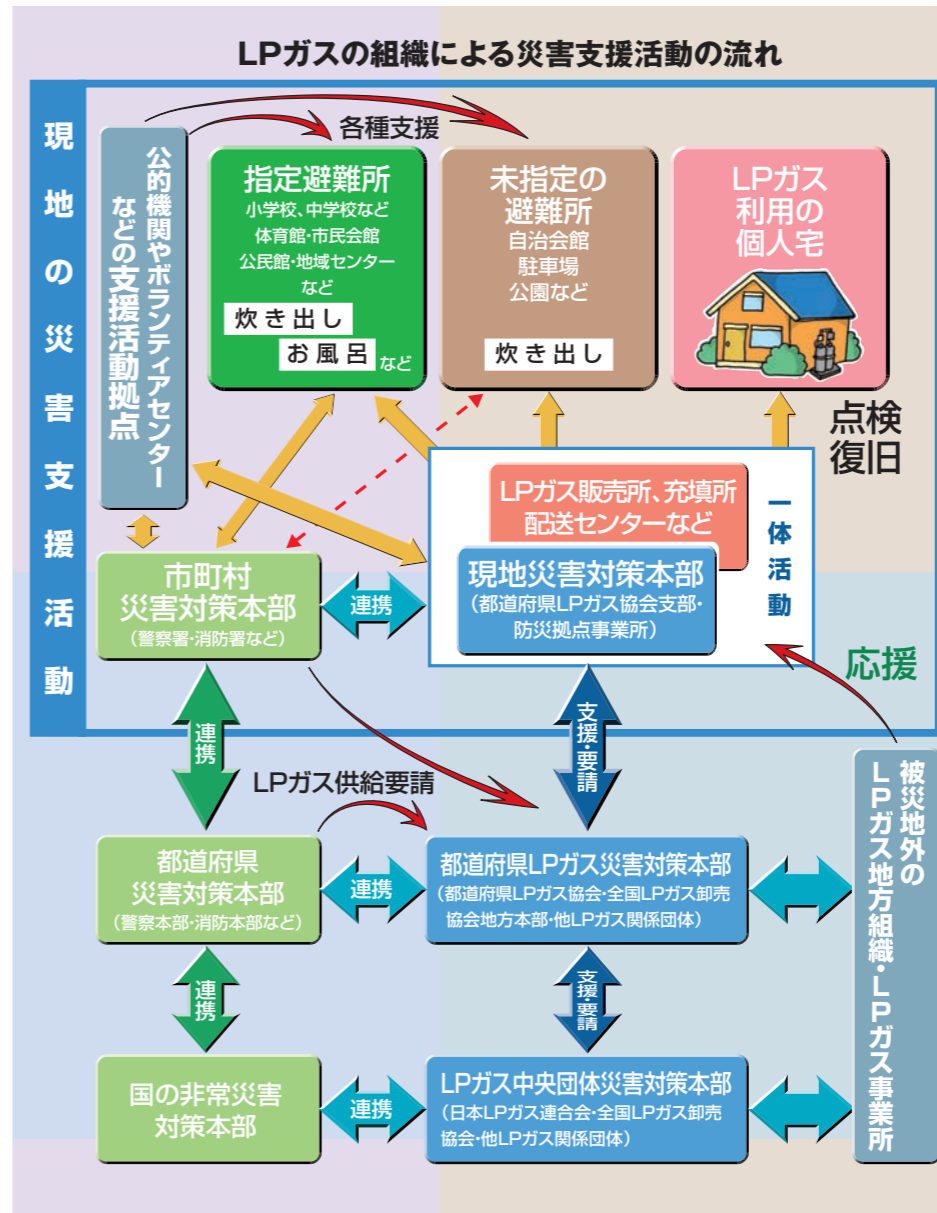
協力関係が不明確だと、いざ大災害が起こった場合に、どこに、どれぐらいのLPガスを届けばよいのかわからず、結果的に、被災者の避難生活に、支障・困難をきたすこととなります。

日常でも2,600万世帯にお届け

LPガスは、全国約5,000万強世帯の半分以上の、約2,600万世帯で使われており、その供給のために、郵便局よりも多い全国25,000店あまりのLPガス販売業者が活動しています。

全国47都道府県ごとに、そのLPガス事業者による「LPガス協会」もありますので、詳しくはお住まいの都道府県協会へご連絡下さい。

(11ページに連絡先を掲載)



あなたのまちでも聞いてみましょう

市町村の防災担当者に聞く
「都道府県LPガス協会・支部とのあいだで、災害時のLPガス供給に関する協定を結んでいる、もしくは検討していますか?」

地域の自主防災会などで話し合ってみる
「大災害時にこの地域では、LPガスってどのぐらい必要だと思う?うまく供給してもらえるかしら?」

LPガス協会や市町村の防災担当者と意見交換する
「大きな避難所にはLPガスは供給されるんですか?地域内の小さな避難所なども支援してもらえるんですか?」